

まちの日記帳



スキーの上達 まずは基本から

1/19

町教育委員会が主催するスキー教室が、スキー連盟の講師の指導のもと行われました。

雪が少なく開催も危ぶまれたスキー教室でしたが、小学校1年生から3年生まで26人の児童が参加し、中には初めてスキーをする児童もあり、参加者は、少しでも上達しようと講師の話を熱心に聞きながら練習に励んでいました。



美国川改修計画を説明

1/31

美国川の河川整備を進める中、北海道（小樽土木現業所）主催による住民説明会が行われました。

美国川の河川整備にあたっては、昨年6月に町内の産業団体長や有識者で構成する検討委員会が発足しており、これまで2回の検討委員会の審議経過を踏まえ、今回の説明会開催となりました。8人が参加した説明会では、河川整備計画（素案）の概要について、河川改修の考え方や流域の社会環境や自然環境などの説明が行われました。今後は、河川整備計画が決定され、これから20年間の具体的な川づくりの方針が策定されることとなります。



赤鬼登場に園児大興奮

2/1

びくに・みなと保育所や子育て支援センターで毎年恒例の節分祭が行われました。園児たちは、それぞれ思い思いの仮面を作り、その出来栄に満足気だったり、友達と比べたりとさまざま。その後、登場した赤鬼に本気になって豆をぶついたり、逃げ回ったりと大奮闘でした。中には、鬼につかまり泣き出してしまった園児もいました。最後には園児一人ひとりが赤鬼と「これからもよい子でいます。」と固い約束を交わしていました。



古平町の児童と雪合戦

2/2

第5回少年教室（町教育委員会主催）が古平町海洋センターの前庭で行われました。

古平町の冬の自然体験学習「少年少女わんぱく王国」と合同で行ったもので、町内の児童9人、古平町児童20人が参加しました。

雪に親しみ雪を楽しもうと、今回は雪合戦を行いました。前庭には身を隠す雪壁や穴が掘られた雪合戦場が設置され、9人がチームとなった両町対抗戦が行われました。

町内の児童は、初めて体験する子がほとんどでしたが、古平町の児童とも交流を深めることができ、楽しいひとときを過ごしました。



韓国テレビメディアが番組取材

2/32

韓国の人気番組「歩いて世界の中へ」の撮影のため番組プロデューサーがカメラマンを兼ねて来町しました。

これは道観光の国づくり推進局の外国人招へい事業の一環として、1月27日から2月7日までの日程で、網走の流氷や登別温泉、札幌雪まつりなど道内9箇所を回り撮影を行うもので、入舸町の漁業者の竹谷満洋さんの作業場を訪れ、竹谷さんの指導もと、ほっけを捌き塩水漬けにしたものを乾燥機にかけパック詰めし、商品化するまでのほっけの開きづくりを体験しました。その後、島武意海岸や岬の湯しゃこたんを撮影し、美国町内の旅館で1泊、日本食にも舌鼓を打ちました。3日は、かんじきを履いて美国町の黄金岬を歩いて登り、眼下に見える島々や海岸線をカメラにおさめていました。



きびきびした行動にたのもしさ

2/15

積丹消防団（細矢富雄団長）は、B & G海洋センターで消防団教育訓練を行いました。

これは、災害の発生し一刻を争う現場において、団員が統率のとれた迅速な行動をとれるよう毎年行っているもので、町内8分団から約50人の団員が参加しました。

また、訓練終了後には、団員の親睦を深めるため、バレーボール大会を開催し、アタックにブロックにハッスルプレーが続出していました。

